

早稲田大学のアントレプレナーシップ教育 ：産学連携を中心に

CAUA シンポジウム 2021

2021年12月23日

早稲田大学 リサーチイノベーションセンター 教授
WASEDA-EDGE 人材育成プログラム 事務局長
神奈川県立保健福祉大学 ヘルスイノベーション研究科 教授
島岡未来子

2014年度～2016年度 WASEDA-EDGE

2017年度～ EDGE-NEXT

WASEDA-EDGEのビジョン、ミッション

● ビジョン

研究成果やアイデアを自ら創出するだけでなく、地球規模の視点でビジネス創造し、地球市民一人ひとりの幸せの実現に貢献できる**EDGE人材**を育成する。

● EDGE人材とは

専門的基礎能力を持ち、鋭利な発想、体系的により新たな市場を開拓し、グローバル展開可能な新規事業創出につなげる能力を持つ人材。
(例：MIPS創業者、前スタンフォード大学長 John L. Hennessy)

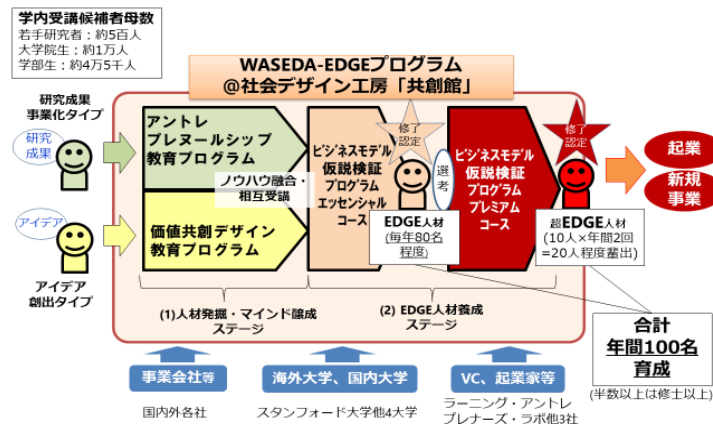


● ミッション

環境・貧困・災害・紛争等の地球的課題の解決に対して、新規事業・産業の創出によって貢献し、世界の平和と人類の幸福の実現に資する**EDGE人材を年間延べ100名、全事業期間で延べ250名育成する**。さらに、**EDGE人材によるベンチャー創業を3社以上実現する**。



WASEDA-EDGE人材育成プログラムの全体像



WASEDA-EDGE人材育成プログラムの成果(2014年度～2016年度)

共創館の構築

学生・社会人の共創的なインタラクションを促進し、産学官連携によりイノベーションを創出する人材を恒常的に育成する場づくり



共創館・西早稲田キャンパス

受講者数とEDGE人材の活躍

受講者累計**2,222人**

起業数累計**8件**



起業の事例

産業界、国等からの注目、評価

資金提供団体・企業の出現、メディアでの取り上げ
国のイノベーション会議での取り上げ

事後評価で最高評価Sを獲得

News
ニュース

文科省グローバルアントレプレナー育成促進事業に係る事後評価 最高評価Sを獲得

早稲田大学は、文部科学省「グローバルアントレプレナー育成促進事業(EDGEプログラム)」の2018年春に実施された事後評価において、最高のS評価を受けました。

「グローバルアントレプレナー育成促進事業」は文部科学省が推進し、我が国におけるイノベーション創出の活性化のため、大学等の研究開発成果を基にしたベンチャーの創業や、既存企業による新事業の創出を促進する人材の育成と関係者・関係機関によるイノベーション・エコシステムの形成を目的とした事業です。本事業には、2014年から2016年まで13機関が認定されており、本学はさまざまな教育機関の中から、イノベーション人材育成拠点としてふさわしい大学として認定されたといえます。

本事業の構想において、本学は、我が国の成長戦略の実現に寄与するため、「WASEDA EDGE人材育成プログラム」の名のもと、全学を挙げて文理融合により社会デザイン工房「共創館」を設置し、事業化マインドを持つ人材の育成、持続的イノベーション・エコシステム形成に貢献することを掲げました。

EDGE-NEXT 採択

ビジネス・クリエーションコースの科目群(抜粋)

ビジネス・クリエーションコースの体系化

- ・EDGEの成果に基づき2017年4月1日より正規科目として実施
- ・現在年間約2000名が受講

グローバルエデュケーションセンター ビジネス・クリエーションコース科目

必要取得単位数: 8単位相当

コア科目: 6単位

* 設置当時の科目群

STAGE 1 意識醸成

- ・起業特論A-D
- A:C:トップリーダーマネジメント **各1単位**
- B:スタートアップエッセンシャル **1単位**
- D:Introduction to Global Entrepreneurship and Intrapreneurship **1単位** (英語による授業)
- ・起業家養成講座 I **2単位**
- ・起業家養成講座 II **2単位**

2単位選択

STAGE 2 アイデア創造

- ・ビジネスアイデアデザイン **2単位**
- ・ビジネスモデルデザイン **2単位**
- ・イノベーション創出思考法1・2 **各1単位**
- ・イノベーションプラクティス **1単位**

2単位選択

STAGE 3 ビジネスモデル仮説検証

- ・ビジネスモデル仮説検証エッセンシャル **2単位**

必修

修了に必要な単位①

コア科目の各Stageにおいて、
2単位ずつ(計6単位)

STAGE 4 ビジネスモデル仮説検証

- ・ビジネスモデル仮説検証プレミアム **4単位**

修了に必要な単位②

左記「修了に必要な単位①」に加えて、
コア科目の未履修科目、Stage4、産学
提携科目、共創館イノベーションプログラ
ムのいずれかから、2単位を取得。

産学提携科目

- ・博士実践特論 A・B・S
- A: イノベーションリーダーシップ **2単位**
- B: 産業イノベーションとキャリアデザイン **1単位**
- S: ロジカルコミュニケーション **2単位**
- ・グローバルビジネスコミュニケーション 基礎 **1単位**
- ・グローバルビジネスコミュニケーション 上級 **1単位**

- ・CSRマネジメント実践01 **2単位**
- ・イノベーション概論α・β **各1単位**
- ・イノベーションとテクノロジー基礎α・β **各1単位**
- ・イノベーションとテクノロジー実践α・β **各1単位**

共創館イノベーションプログラム*

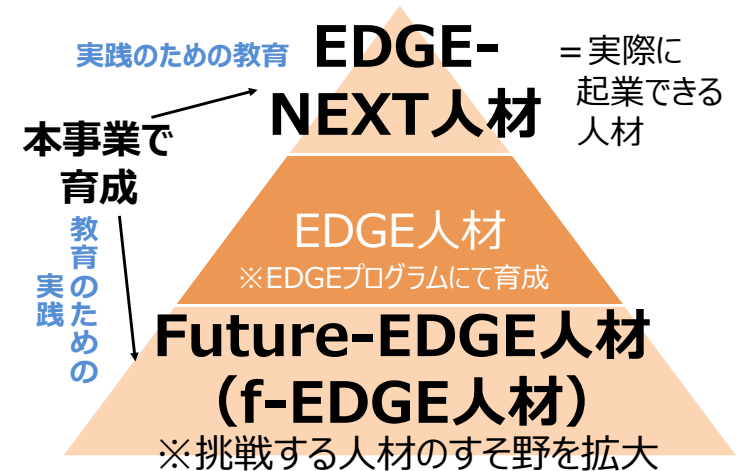
- (単位を付与しない教育プログラム)
- イノベーションに関するテーマに対するセミナー・ワーク
ショップを開催(年9回程度実施予定)
- 【2017年度実施予定】
- ・技術を活用したビジネス・デザイン
 - ・早稲田共創館ハッカソン
 - ・経営戦略のデザイン・ワークショップ

EDGE-NEXTの事業目標

- 先進的な教育手法を結集した**起業教育プログラム体系を確立**する
- 「実践的」を超えた、「**実践**」による起業教育を実現する
- 「失敗を恐れず、チャレンジする**起業文化**」の醸成に貢献する
- 各地域でのベンチャー・エコシステムの**ハブ形成**に貢献する
- 学内での位置づけを確立し、複数財源の下で**持続的**な教育体制を構築する
- これらにより、世界トップレベルのアントレプレナー**育成拠点**となる

● **f-EDGE 人材**（「教育のための実践」トラックで育成）：
将来の産業構造の変革を起こす意欲を備えた、**起業あるいは社内新規事業創出を担う**であろう候補生。主に学部学生を受講生と想定し、EDGEの成果として設置したコースや、地域の課題解決、インターンによる起業から解散までの企業のライフサイクル体験などを題材としたPBLで、**正規科目を中心に**教育する。


● **EDGE-NEXT 人材**（「実践のための教育」トラックで育成）：
EDGEでの学習内容、強固な技術シーズ等を軸に、より実践的な製品デザインの技法、グローバルビジネスピッチ等でVC等への発信力などを備えた、**価値起点で実際に起業あるいは社内新規事業創出を実現できる人材**であり、ソーシャルイノベーションを起こしうる人材。EDGE人材、大学院生・若手研究者を受講生と想定し、各機関の得意分野におけるビジネス創造の知見を持ち寄り、**異分野融合、文理融合**により育成する。



人材・地域・専門などの多次元的新結合による**先鋭的**で総合力の高いプログラムを展開

実施する教育プログラムのイメージ、育成するアントレプレナー像

 = コーティング  = 知識、手法

 = メンター、VC等



教育のための実践



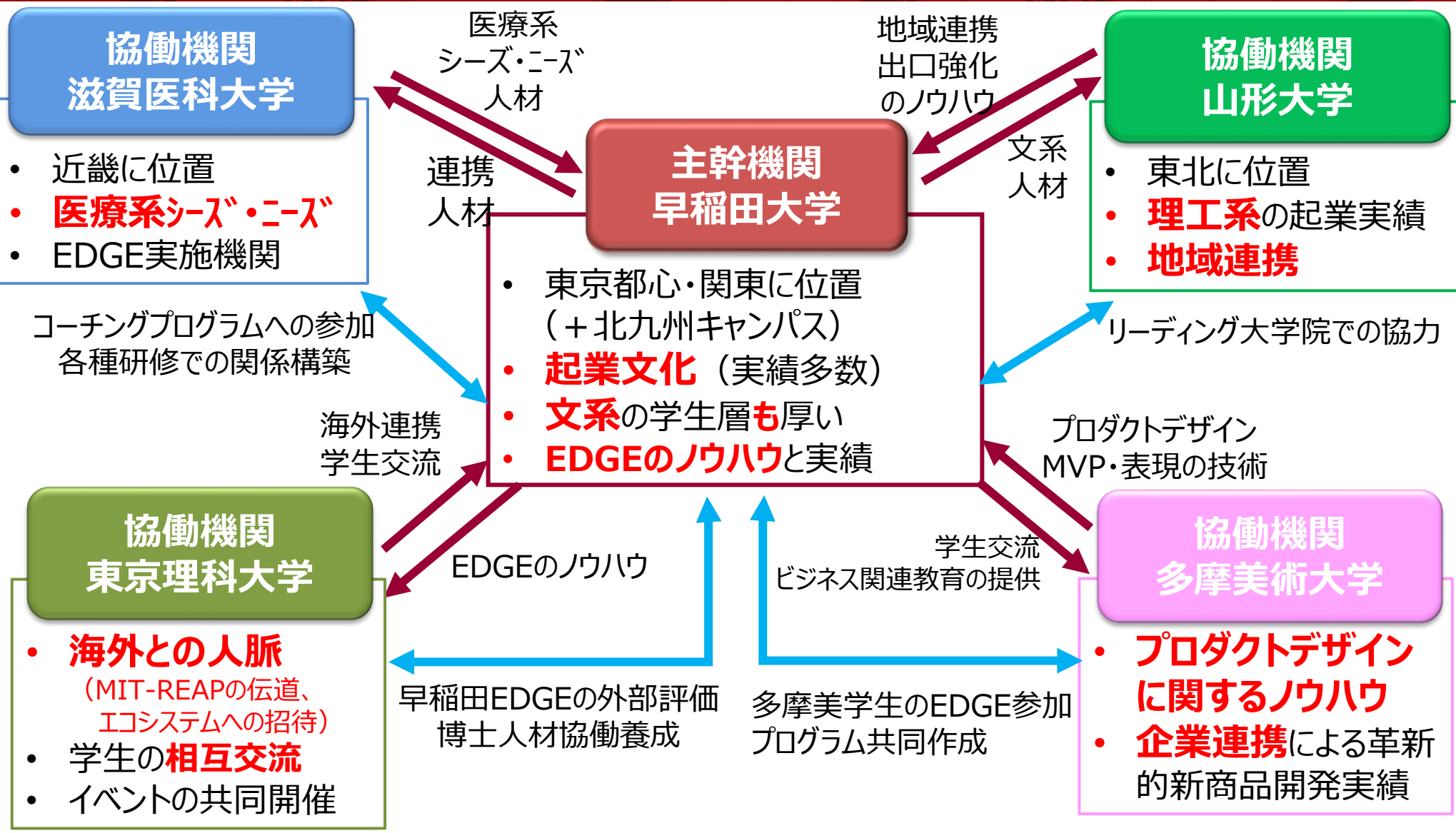
<future-EDGE人材>
 自らイノベーションを起こす意欲を備え、**将来起業あるいは新規事業創出を担うことのできる候補生の育成。**

実践のための教育



<EDGE-NEXT人材>
 実践的なビジネスデザイン技法を備え、グローバルビジネスピッチ等でVC等への発信力を有する、価値起点で**実際に起業あるいは新規事業創出が実現できる人材の育成。**

EDGE-NEXT実施コンソーシアムの体制と特徴



既往の連携実績
 EDGE-NEXTの協力

その他、国内外29の機関（企業、自治体、大学）が協力機関として参画

国内外との連携によるダイナミックなプログラム展開

<欧州>

チャルマース工科大
ルンド大など
(MIRAI, Ignite Sweden)



日米欧三極の機関連携によるグローバルネットワーク形成

<北米>

バブソン大学
(バブソン大合同WS)
スタンフォード大学
(d.school連携WS)



MIT
UCSD
(MicroMBA)

メリーランド大学
オタワ大など

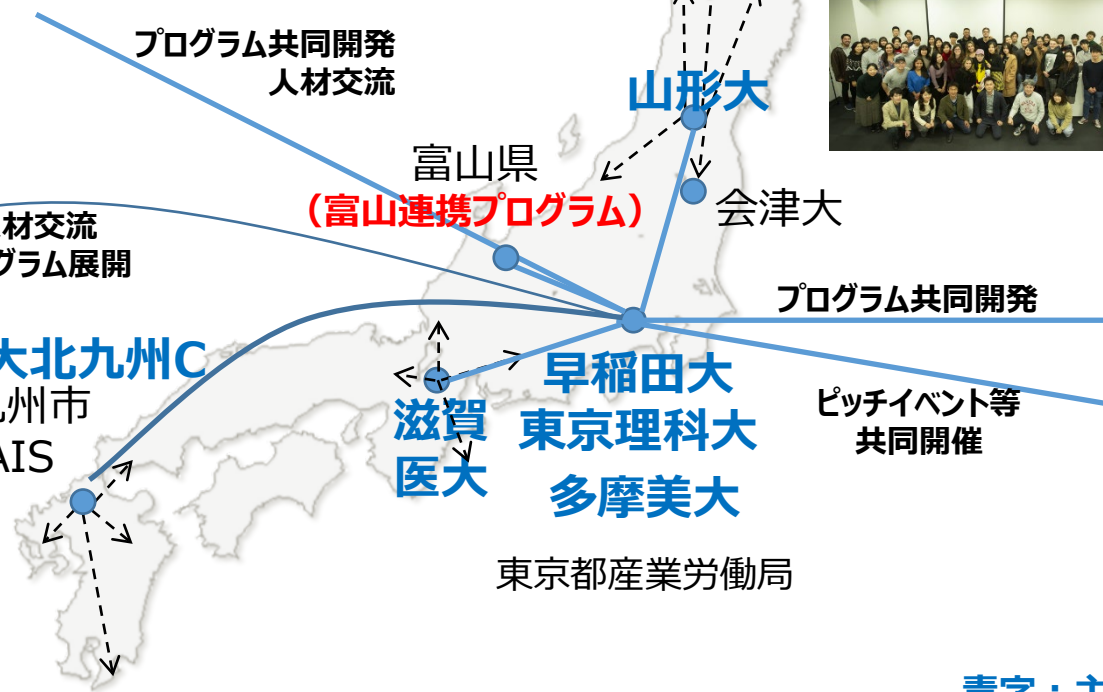
<アジア>

北京大/韓国外大

中国重点大学
(中国サマ-プログラム)



アジアにおけるエコシステム形成



価値共創プラットフォームを介した展開

青字：主幹機関、協働機関
黒字：協力機関
赤字：2021年度連携プログラム

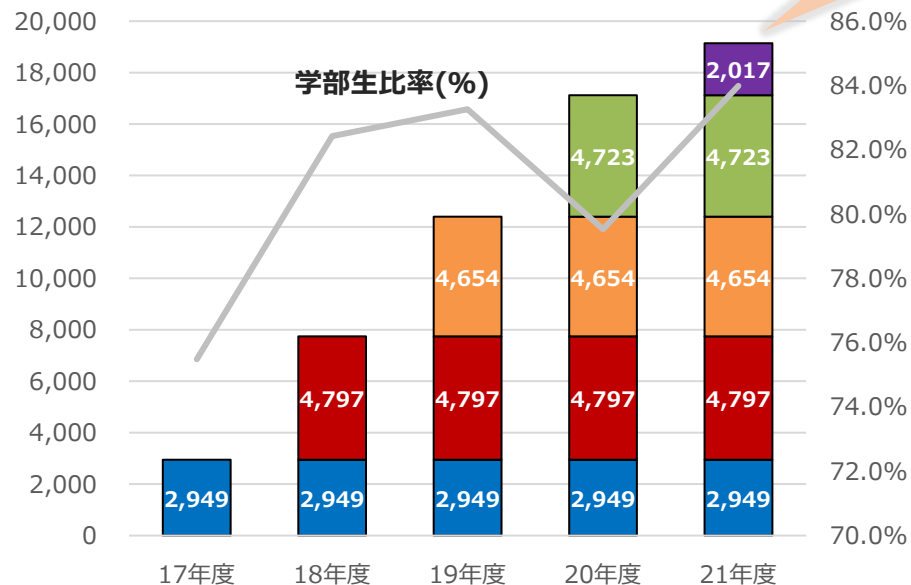
理工系・文系・医療系・芸術系など多様な専門分野を持つ大学の連携
自治体の参画による現場の確保 地域拠点による地方創成
海外連携による先進的な知見の輸入と開発プログラムの展開 国際競争力の強化

事業目標に対する主な実績

◆ 数値目標に対する実績（受講生数、事業化数）

目標(延べ数)	単位	5年間計	早稲田大学	滋賀医科大学	東京理科大学	山形大学
受講生数	人	5,200	3,200	170	1,520	310
うち学部生数	人	2,386	1,280	53	991	62
学部生比率	%	45.9%	40.0%	31.2%	65.2%	20.0%
起業、新規事業数	件	24	10	1	3	10

4年間半の受講者概数 累計



受講者累計
19,140人

受講生数・学部生比率は、**目標を大きく上回る結果に**

- ・ 受講生数: 19,140名
- ・ 学部生平均比率: 81%

起業・新規事業件数は、**累計37件で目標達成**
※起業準備中含む

◆ 中間評価では最高評点Sを獲得

Topic
トピック

EDGE-NEXT 最高評点Sを獲得

文部科学省次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXT）に係る中間評価 最高評点Sを獲得

早稲田大学主幹コンソーシアム（Skyward EDGEコンソーシアム）が実施する「EDGE-NEXT人材育成のための共創エコシステムの形成」が、文部科学省「次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXT）」の中間評価において、最高のS評価を受けました。

EN
Skyward

STEP1 意識醸成

STEP2 アイデア創出

STEP3 仮説検証

STEP4 実践への橋渡し

STEP5 起業

実践のための教育
(起業家育成プログラム)

早稲田
microMBA online

Skyward
EBIAヘルスケアプログラム

早稲田 多摩美
多摩美大連携プログラム

理科大
GAPファンド
早稲田
ギャップファンド・プロジェクト

起業者育成プログラム (プレミアムコース) : コロンビアビジネススクールジョイントプログラム

理科大
テクノロジー・ハッカソン

山形
起業者育成教育(実践編) : ハンズオン創業支援

早稲田
中国重点大学対象
プログラム

滋賀医
海外研修プログラム

早稲田
海外武者修行プログラム

早稲田 滋賀医
医療特化型BM仮説検証

多摩美
イントラプレナー育成を
目的とした産学共同研究

早稲田
WASEDA
Demo Day

ビジネスクリエーションコース

滋賀医
学部選択科目
「医療イノベーションの基礎」

Skyward
コンソーシアム合同プログラム

理科大
Innovation Team Lab.

滋賀医
SUMSピッチコンテスト

多摩美
第2スタジオ屋台トーク

早稲田
富山県新規事業創造
インターンシップ

起業者育成プログラム (ベーシックコース) : コロンビアビジネススクールジョイントプログラム

山形
起業家マインド醸成 中高生対象「イノベーションプログラム」

早稲田
Real Entrepreneurship
by Active Learning
(REAL)

山形
IT人材育成プログラム「スーパーエンジニア」
「プログラミングスクール」

教育のための実践 (起業家精神を有した人材育成プログラム)

EDGE
NEXT
人材

Future
EDGE
人材

コーチングによる内発的動機の醸成/主体性・行動・リーダーシップの醸成

実践のための教育 (起業家育成プログラム)

EDGE
NEXT
人材

STEP1

意識醸成

STEP2

アイデア創出

STEP3

仮説検証

STEP4

実践への
橋渡し

STEP5

起業

Future
EDGE
人材

教育のための実践 (起業家精神を有した人材育成プログラム)

早稲田

小分けプログラム

早稲田

中国重点大学対象
プログラム

STEP1

意識醸成

STEP2

アイデア創出

STEP3

仮説検証

STEP4

実践への
橋渡し

STEP5

起業

学部・大学院で実施される講義(アントレプレナー教育をテーマとするものではない)の**一コマ程度**を使って実施し、ビジネスに関心がなかった学生に対しても、**アントレプレナー精神と本プログラムへの興味を喚起することを目指す。**

<2017年度の実施>

- **米国・メリーランド大**を訪問し、具体的な実施方法を見学、ヒアリング等をおこなった。
(3月に訪問)
- 試行的に1回90分でBM仮説検証の冒頭部分の内容を実施。
(12月8日に「**国際知財政策B**」(受講者：理工学生300名程)の1コマで実施済)

<2018年度の実施>

- 「**国際知財政策A**」(受講者：理工学生300名程)の1コマで7月4日に実施済
- **公共経営専攻**のプロジェクト期間において、
デザイン思考による政策立案の体験授業を実施予定。



取組のポイント

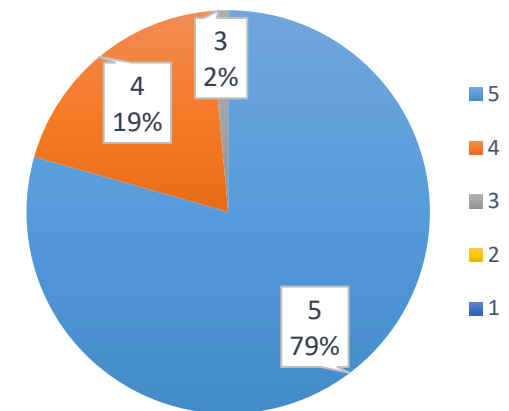
- ✓ 実施授業数を1科目→2科目に増加。
- ✓ **文系の学生を対象とした「医療経済学」**(受講者：政治経済学部200名程)のでも実施。

中国国家重点大学群の学生を対象としたプログラム

- ✓ 中国国家重点大学群学生対象に、起業家教育に関するプログラムを実施
→ 上海の復旦大学など中国トップ校からの学部生、院生が参加
- ✓ 参加学生は、ビジネスプランの練り方やコーチングの手法等を学び、最終日のビジネスアイデア発表会に向けて、グループプロジェクトに取り組む
- ✓ 本プログラムは民間企業からの外部資金導入により実施

	2018 夏	2018 冬	2019 夏	2020 夏	2020 冬	2021 夏
場所	早稲田大学	早稲田大学	早稲田大学	オンライン仕様に変更 (Zoom,Miro等)		
参加人数	104名 (2班で実施)	45名	34名	81名	62名	85名
特徴	早稲田大学内のキャンパスツアーを実施 (オンライン時はバーチャルキャンパスツアー等を実施) 早稲田大学の学生TAがグループワークをサポート					

'21年度アンケート結果の一部
“大変満足・満足回答者が95%以上”



STEP1
意識醸成

STEP2
アイデア創出

STEP3
仮説検証

STEP4
実践への
橋渡し

STEP5
起業

早稲田

富山県新規事業創造
インターンシップ

富山県新規事業創造インターンシッププログラム

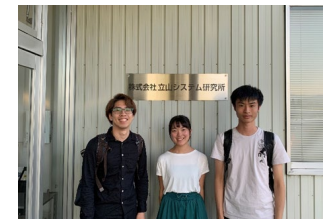
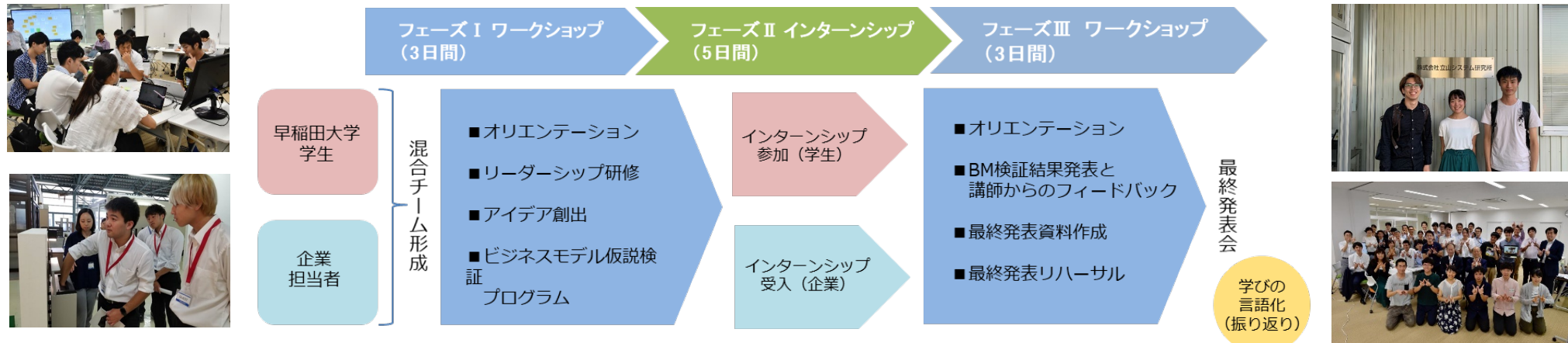
- 早大生と参加企業がチームを形成、富山県における地域イノベーション、企業内新規事業創造に貢献できるアイデア創出の学びを行う
- ワークショップと企業・自治体における実践（インターンシップ）の組み合わせにより、アイデア創出からビジネスモデルの検証までを理論に基づいた緻密な手法を通じて実践的に学ぶ
- 早大生は選抜のうえ各年度15名が参加し、2018、2019年度は早稲田大学および富山県で、コロナ禍の2020、2021年度はオンラインで開催

【参加企業】

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
北陸電力株式会社 株式会社富山村田製作所 株式会社スギノマシン 株式会社CKサンエツ YKK AP株式会社	朝日印刷株式会社 三協立山株式会社 立山科学グループ 東亜薬品株式会社 株式会社リッチェル	株式会社能作 北陸コカ・コーラボトリング株式会社 前田薬品工業株式会社 富山県庁	株式会社広貫堂 株式会社今井機業場 クリエイションライン株式会社 株式会社野上緑化 富山県庁



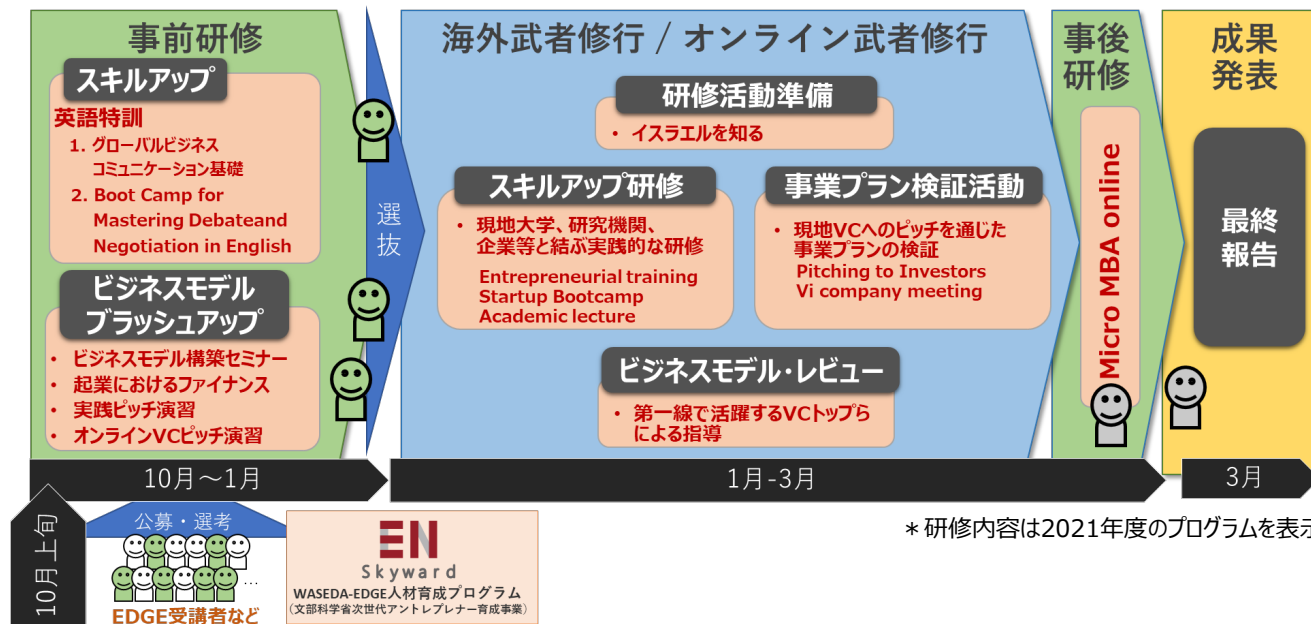
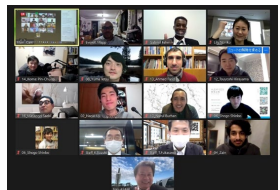
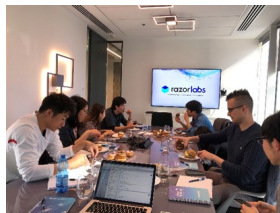
【プログラム実施フロー】



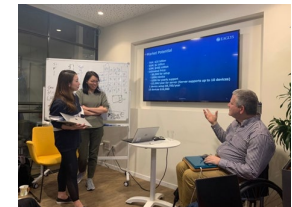


アントレプレナー育成海外武者修行 / オンライン武者修行 プログラム

- WASEDA-EDGE受講者を選抜、国際的なビジネスへ展開できる実践的スキルを習得させ、イスラエルの大学・研究機関・企業での研修を通じて将来のグローバルリーダーを育成する
- 受講者は研修中イスラエルの企業家、VC等とネットワークを構築し、ビジネスプランの検証を行う
- 2018、2019年度はイスラエル現地研修、コロナ禍の2020、2021年度はオンライン研修を実施（各年度 受講者約15名、研修期間約3週間）
- 駐日イスラエル大使館、駐イスラエル日本大使館他の協力を得て実施（2018年度は駐日イスラエル大使公邸にて成果報告会を開催）



* 研修内容は2021年度のプログラムを表示



早稲田

ギャップファンド・プロジェクト

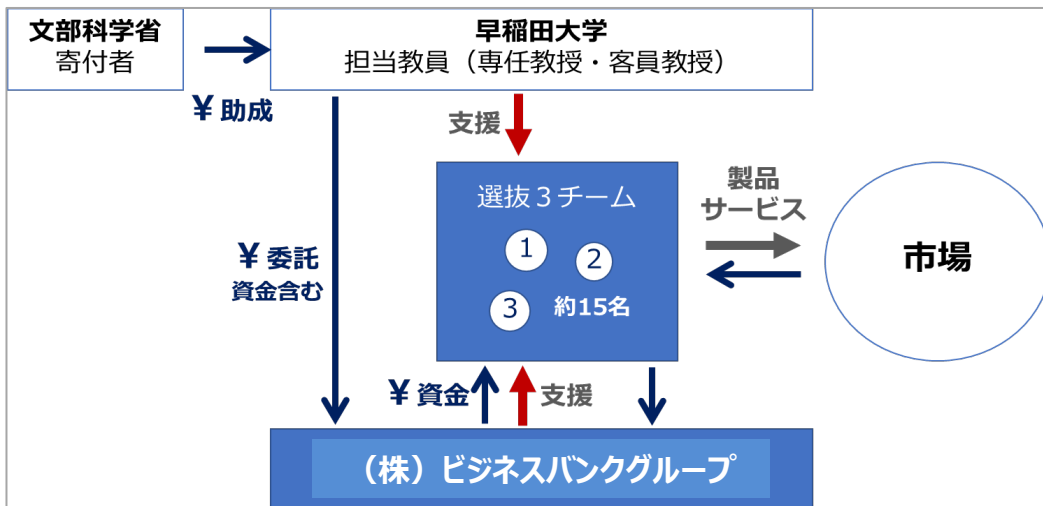


早稲田

Real Entrepreneurship
by Active Learning
(REAL)

実践・起業インターン（REAL）

会社設立から解散までの一連の起業ライフサイクルをインターンとして体験



- ✓ インターンのスキームで「起業」という職業訓練の機会を提供
- ✓ ビジネスバンクグループ社内新事業として 社内のリソースを活用した支援を受ける
- ✓ ビジネスアイデアは学生が起案したもので 実施

実施年度

実績概要

【第1期】 2018-2019	全チームが黒字化を達成 → <u>最高額は120万円の売上に</u>
【第2期】 2019-2020	コロナの影響を受けながらも、 <u>全チーム黒字化を達成</u>
【第3期】 2020-2021	フルオンライン実施の影響もあり、 1チームのみ利益獲得→現在、事業継続中
【第4期】 2021後期～	現在5チームに増やして実施中、 ⇒ <u>事業内容も多岐に渡るアイデアを選出</u>

<受講生の声（第2期2019-2020年）>

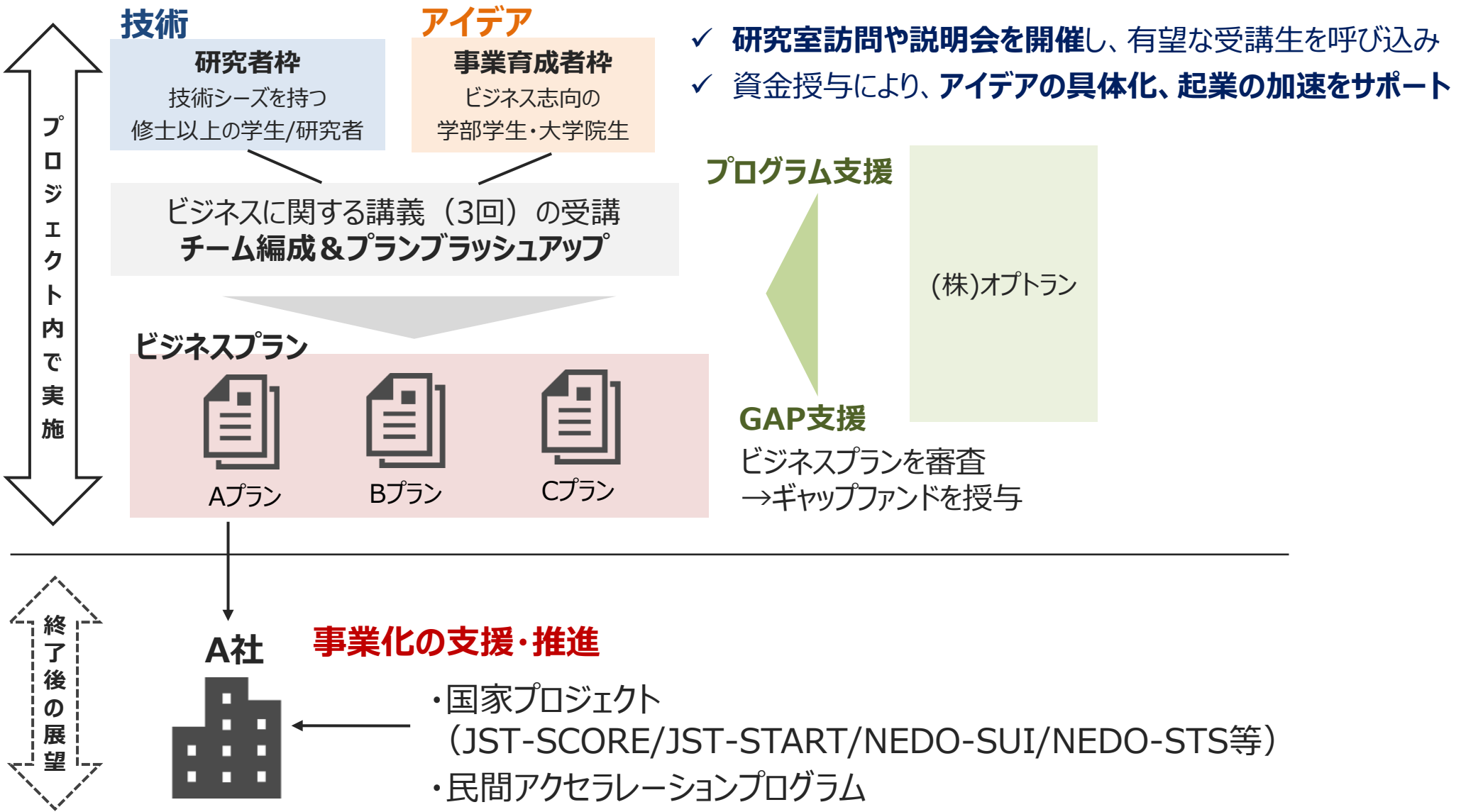


早稲田大学スポーツ科学部スポーツ科学科4年
三富 大雅 さん

学部で学んだ専門知識を活かして何かビジネスができないかと考え、受講しました。この講義の最大の特徴は「利益を出すこと」を求められることです。ビジネスモデルを作ることは他の多くの講義でも経験できます。しかし、理論ではなく現実世界で売上を出す経験は、私の知る限りREALでしかできません。また、担当講師陣からのフィードバックの質が非常に高いのも魅力の一つです。自身のアイデアを机上の空論では終わらせたくない、より実践的な経験を積みたいと考えている学生に強くお勧めできる唯一無二の講義です。|

WASEDA-EDGE ギャップファンド・プロジェクト

アイデア創出から起業までに必要となる製品検証等を民間企業からの寄付によりサポート



- ✓ 研究室訪問や説明会を開催し、有望な受講生を呼び込み
- ✓ 資金授与により、アイデアの具体化、起業の加速をサポート

知見の体系化に向けた取り組み ① 書籍出版

「**ゼロからつくるビジネスモデル**」井上 達彦（著） 東洋経済新報社, 2019年出版
アイデア創出から、ビジネスモデル構築、事業の循環までを多くの事例を紹介する一冊。
 EDGEやEDGE-NEXTの取組についても触れている。



「**経営戦略 (ベーシック+ (プラス))**」 中央経済社, 2020年出版
 井上 達彦 (著, 編集), 中川 功一 (著, 編集), 川瀬 真紀 (著, 編集)
 経営戦略論の論理と手法を、主に大学の学部教育で行う授業の教科書になるよう執筆。
EDGE-NEXT (共創館プログラム) での取組成果も反映されている。

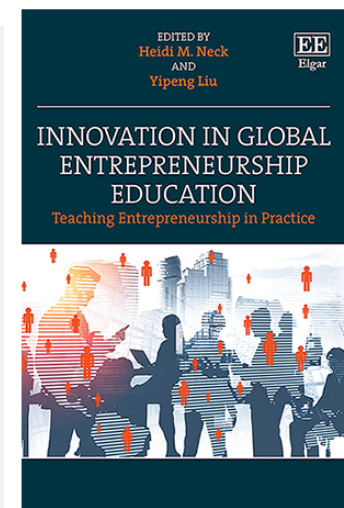
“*Innovation in Global Entrepreneurship Education*”に寄稿し **WASEDA-EDGEの取り組みを世界に発信**

『*Innovation in Global Entrepreneurship Education*』

出版-Edward Elgar Publishing (2021/2/9), 編集-Heidi M. Neck (バブソン大学)

Entrepreneurship education at Waseda University, Japan (第1部4章)

著者 : Mikiko Shimaoka, Toru Asahi, Tatsuhiko Inoue, Tomomi Kito,
 Takahiro Ohno and Shozo Takata (Waseda University, Japan)



コンソーシアム連携実績

コンソーシアム合同プログラム

A 大学生を対象にコンソーシアム合同プログラムの実施

- ✓ 5大学の学生混合で**多様性の高いチーム編成**（文系/理工/医療/デザインなど幅広い分野）
- ✓ 各チームに**連携地域の自治体職員も入り**、学生と共に**アイデア創出に参加**
- ✓ FDの一環として**教員チームを1チーム配置**（アイデア創出→最終発表まで行う）

	実施方法	対象地域	ワークショップテーマ	地域紹介の方法
'19年度	現地	山形県飯豊町	移住者の立場・気持ちになって、飯豊町をフィールドとした地域イノベーションを考えよう	飯豊町見学ツアー ・ホトケヤマ展望台 ・自然エネルギー低温貯蔵施設
'20年度	オンライン	埼玉県本庄市	With/after コロナ時代における大都市近郊地域のイノベーション	本庄市役所職員より説明
'21年度	オンライン	長野県茅野市諏訪市	With/after コロナ時代における地域イノベーション	地域紹介の動画



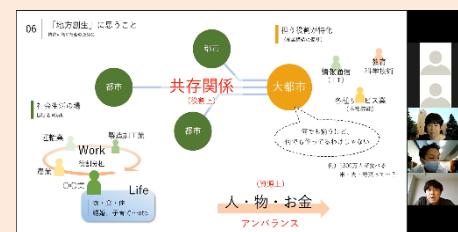
飯豊町見学ツアー



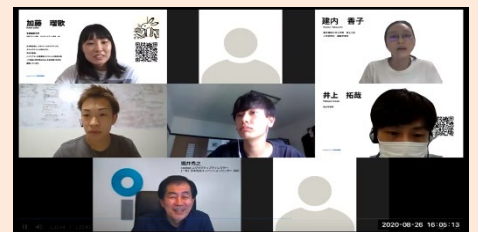
グループワークの様子



最終アイデア発表



地域の紹介（職員の方より）



グループワークの様子

“医療機器等のアイデア発想からビジネスモデル仮説検証”までを手掛けるプログラム

医療従事者のニーズを題材に
「医療機器/サービス」アイデア発案

早稲田大学

「デザイン思考」講義

滋賀医科大学

看護師へのヒアリング

医療特有の知識学習

ビジネスモデル
仮説検証

- リンスタートアップ
- 顧客インタビュー

ビジネス
アイデア
発表

アイデアを
ブラッシュアップ

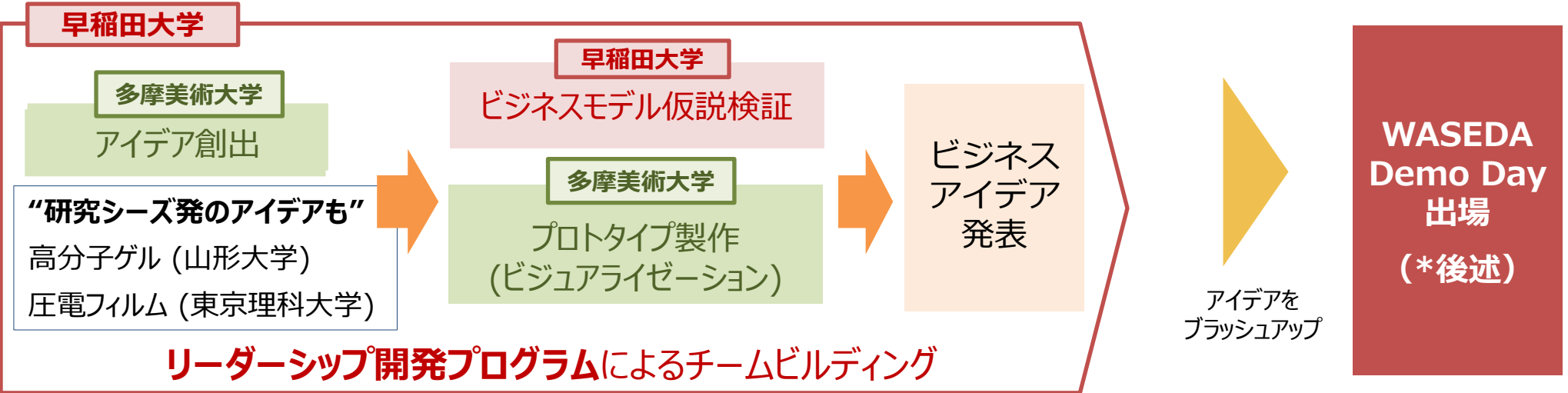
WASEDA
Demo
Day
出場
(*後述)

- ✓ 看護師からの現場目線のフィードバックを得られる機会を提供
- ✓ 滋賀医科大学の医学部生 + 早稲田大学/東京理科大学の学生混合チームにて実施
- ✓ 医療機器等のビジネスモデル設計/検証にあたり、下記2点のコンテンツを強化
① **薬機法上の承認プロセス** ② **技術実現性の検証演習**



<多摩美術大学×早稲田大学連携プログラム> ビジネスアイデアの「表現力」を鍛えよう！

デザイン面のノウハウ・カリキュラムを適用した、効果的な事業創出技法の提供



- ✓ オンサイト実施時は、**プロトタイプ製作のために多摩美術大学の施設を利用。**
⇒オンライン時は、多摩美術大学教員による講義「オンラインでのプロトタイプ製作方法」を実施。
- ✓ 早稲田大学の正規科目に合流するスキームにし、両大学の**学生の単位取得を可能**にした。
※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により現在は単位互換制度中止。



2021年度多摩美連携×医療特化型事業創造プログラム

＜多摩美術大学 × 滋賀医科大学 × W-EDGE連携プログラム＞ 2021年度多摩美連携×医療特化型事業創造プログラム

- ・「医療特化型事業創造プログラム」（早稲田大 × 滋賀医大 × 多摩美）として、講義、ワークショップをオンラインで実施。
- ・「医療現場の要望からビジネスアイデアを創出する」をテーマに、医療現場の要望をインタビューし、仮説検証から事業提案まで行う中で、顧客ニーズを探る上で重要な観察眼と発想の繋げ方について、フレームワークでより効率的に学べるよう工夫。
- ・さらに、アイデア検証、プレゼンテーションに役立つグラフィック、レイアウトの基礎知識の授業を実施。
- ・画像、イラスト、ラピッド・プロトタイピングを駆使して、効果的にアイデアを伝える情報を整え、仮説検証、最終発表を実施。

2021年度多摩美連携×医療特化型事業創造プログラム

協働とはどういうことか？
ニーズをつかむとは？
インタビューのコツ

物事を理解するための、
認知のしくみ

アイデア出し、仮説構築
アイデアの魅力を効果的に伝える方法

24日(火)

インタビューの準備

25日(水)

医療現場の要望を聞く。
インタビューでインサイトを探る。

フィードバック

アイデアによっては仮説の検証先が最初にインタビューした人とは異なる可能性もある。

26日(木)、27日(金)

検証のための
具体的なアイデア、
仮説決定

28日(土)

ビジネスに磨き上げ
仮説検証

検証のための情報を整える

※今回の授業では、
画像、イラスト、ラピッド・プロトタイプングを駆使して、効果的にアイデアを伝える情報を整え、仮説検証、最終発表を行った。

受講生の声（アンケート結果より）

コンソーシアム合同プログラム

- ・ 個性や専門性を活かして意見を出し合えた('19年度,学生)
- ・ **地域の特色や学部の多様性が創出アイデアの多様性に結びついていたと思う** ('21年度,教員/FD枠)
- ・ **コロナ禍の現状に即したテーマ**で非常に取り組んでいて勉強になった('20年度、自治体職員)
- ・ 実際に地域に暮らしている学生と話す機会があったのはアイデア創出に大変役立った ('21年度,学生)

多摩美術大学×早稲田大学（わせたま）プログラム

➤ 早稲田生のコメント

- ・ 多摩美のデザインの先生方から教授いただいたアイデア出しが新鮮で目からウロコだった。
- ・ 多摩美の学生とできたことが、**美大独自の考え方や、プロトタイプ制作現場を体感できた**のでよかった。

➤ 多摩美生のコメント

- ・ 今まではデザインの領域を中心に考えて制作していたが、**ビジネスになり得るのか、シビアな面で考えて、デザインを変えていったことが印象的**
- ・ デザインについて理解のある人と関わるのがほとんどのため、早稲田の学生や先生と関わったこと、また**考え方のギャップの中で必死にコミュニケーションするという体験がためになった。**

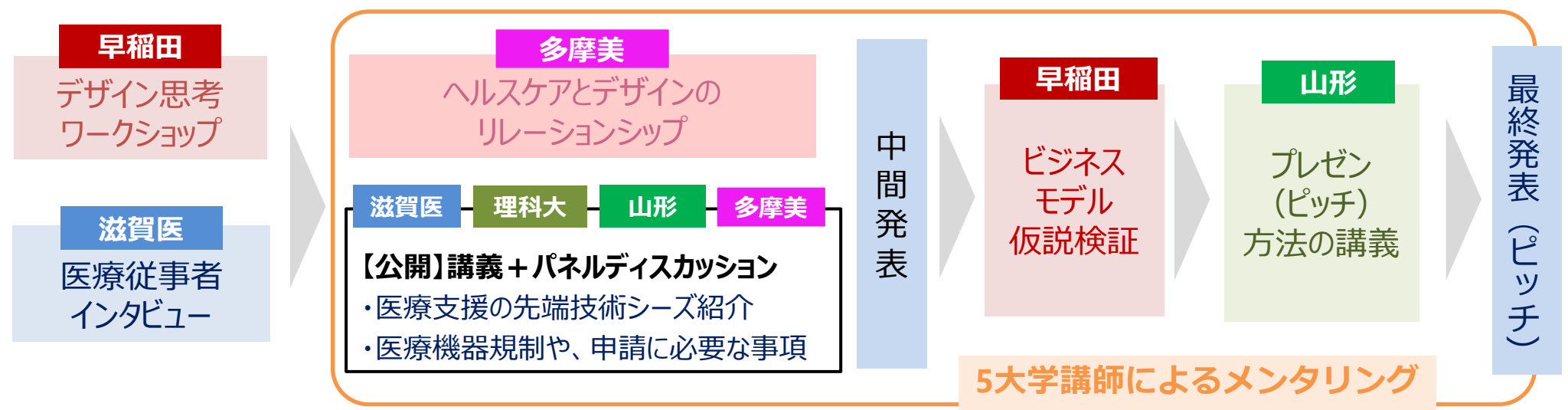
今後の5大学共同取組

5大学共同EBIAヘルスケアプログラムの実施

「医療現場の課題×技術シーズ×アート」による新規ビジネスの創出

- ✓ **コンソーシアム共同でプログラム設計・企画から運営までを実施**
 - ✓ **企業(社会人受講生)を対象とした有料プログラムに設計** (参加学生19名と混合チーム)
- 複数企業にニーズ調査を行い、2021年度は6名の社会人受講生が参加
(実施日程：7/24 (土) ~12/11 (土) の全11回、隔週土曜日9:00-12:00)

5大学講師による“各大学の得意分野”を活かす内容 (既存の医療特化プログラムの発展形)



補助事業期間終了後に向けた「自立的資金によるプログラム運営」へ

**第三次補正予算補助事業
[SCORE大学推進型（拠点環境都市整備型）]**

Tokyo United Network for Innovation with Technology and Entrepreneurs (T-UNITE)

主幹機関：早稲田大学

**共同機関：東京理科大学 東京農工大学 多摩美術大学
神奈川県立保健福祉大学 三菱電機株式会社**

早稲田大学を中心に54の機関がプラットフォームT-UNITEを形成

早稲田大学を中心に54の機関がプラットフォームT-UNITEを形成 東京を拠点としたイノベーションエコシステム形成に貢献

2021年3月19日、早稲田大学を主幹校とし、東京理科大学、東京農工大学、多摩美術大学、神奈川県立保健福祉大学、三菱電機株式会社を共同機関とし、48の大学や企業等を外部協力機関とするプラットフォーム、Tokyo United Network for Innovation with Technology and Entrepreneurs (T-UNITE) が、JST社会還元加速プログラム (SCORE) 大学推進型 (拠点都市環境整備型) に採択されました。

本事業は、コロナ後の社会変革や社会課題解決に繋がる社会的インパクトの大きいスタートアップが持続的に創出される体制の構築を目的としています。スタートアップ・エコシステム拠点都市の中核となる大学・機関企業等含 によるプラットフォームを形成することが期待されています。

T-UNITE プラットフォームは、異なる役割・特色を持つ機関の相補・相乗連携の下で、社会課題解決と経済繁栄を両立した新しいビジネス・産業・社会システムの創出に貢献するしなやかで強固な人材層の蓄積と拡充を目指します。

起業活動支援プログラムでは、SCORE大学推進型に採択されている早稲田大学での進め方を1つのモデルとし、実施大学における早急なノウハウの獲得に向けた審査・採択プロセスやハンズオンの支援などの標準化・共通化を進めます。

起業家育成プログラムの指導・支援人材の育成では、分野トップ校であるスタンフォード大学d.school、ハブソン大学と連携し、世界第一級の育成プログラムを共同開発します。またこれまで実施してきた起業家教育プログラムを教材化し、起業意欲とスキルを持った国際水準な人材を持続的に育成します。

加えて、DXなど新たなイノベーションに係る技術に対応した起業環境や共創的な人材育成プログラムに資する教学環境を整備します。

本学はスタートアップ・エコシステム東京コンソーシアムの理事機関であり、現時点において文部科学省次世代アントレプレナー育成事業 (EDGE-NEXT) とJST SCORE (大学推進型) の双方のプログラムに採択されている唯一の機関です。国内外の協働機関との協業の下での実践的な起業家育成プログラムや、ビジネス創出支援に長けた国内外の専門家の伴走を得て研究シーズから社会的価値の創出を目指すPoCプログラムの運営の実績を踏まえつつ、学内資源をより結集した支援体制を構築し、東京コンソーシアムとの綿密な連携の下で、東京を拠点としたイノベーションエコシステムの構築に貢献していきます。



Topic

トピック

世界を変える大学発ベンチャー育てる

JST「研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム（START）スタートアップ・エコシステム形成支援事業」に採択

早稲田大学ほか首都圏85機関が集結！「世界を変える大学発ベンチャーを育てる」スタートアップ・エコシステム（GTIE）が発進

主幹機関

東京大学／早稲田大学／東京工業大学

共同機関

筑波大学／千葉大学／東京農工大学／お茶の水女子大学／神奈川県立保健福祉大学／横浜国立大学／横浜市立大学／東京医科歯科大学／慶應義塾大学／東京都立大学／ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン（LINK-J）／CIC Toranomom／渋谷スクランブルスクエア（SHIBUYA QWS）

幹事自治体

つくば市／茨城県／川崎市／横浜市／渋谷区／東京都

協力機関

神奈川県／新宿区／富山県／中央大学／筑波技術大学／神奈川大学／関東学院大学／産業技術大学院大学／東京理科大学／多摩美術大学／滋賀医科大学／沖縄科学技術大学院大学（OIST）／国立高等専門学校機構／バブソン大学（Babson College）／ルンド大学（StenK. Johnson Centre for Entrepreneurship at Lund University）／ニューヨーク州立大学（School of Management, Binghamton University, State University of New York）／テルアビブ大学（Universitat Tel-Aviv）／横浜みなとみらい2.1／つくばグローバル・イノベーション推進機構／産業技術総合研究所／理化学研究所／物質・材料研究機構／日本貿易振興機構／株式会社三井住友銀行／株式会社横浜銀行／SOMPOホールディングス株式会社／野村證券株式会社／東急不動産株式会社／森ビル株式会社／三井不動産株式会社／三菱地所株式会社／三菱電機株式会社／野村アグリプランニング&アドバイザー株式会社／東京大学協創プラットフォーム開発株式会社／株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ／Beyond Next Ventures株式会社／ウエルインベストメント株式会社／コランダム・イノベーション株式会社／株式会社Coral Capital／Landing Pad Tokyo／インキュベイトファンド株式会社／ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ株式会社／株式会社スケールアウト／インテグラル・インベストメント株式会社／株式会社アカデミック・ギャングスター／ダイアログ・カフェ・クラブ／FieldUP／株式会社マキシマイズ／株式会社iSGSインベストメントワークス／株式会社ABCash Technologies／株式会社みらい創造機構／株式会社理研鼎業／株式会社先端技術共創機構／カルチャービジョンジャパン／大川ドリーム基金／シリコンバレー・ジャパンプラットフォーム（SVJP）／Plug and Play Japan株式会社／500 Startups／Sozo Ventures／Scrum Ventures／環境パートナーシップ会議（EPC）／日本バイオデザイン学会／日本医療ベンチャー協会

ご清聴ありがとうございました

<https://waseda-edge.jp/>

EN

Skyward